



新 着 図 書



おすすめの本



『妊娠したら、さようなら』

『女性差別大国ニッポンで苦しむ技能実習生たち』

吉水 慈豊著 出版：集英社インターナショナル

【内容紹介】技能実習生が孤立出産に追い込まれ、赤ちゃんの死体を遺棄する事件が立て続く。妊娠を理由に仕事をやめさせられ、帰国させられるベトナム人女性。そんな妊婦たちを救った尼僧の記録。



『婦人相談員物語』

『その証言から女たちの歴史を紡ぐ』



村本 邦子著，松本 周子著 出版：国書刊行会

【内容紹介】売春防止法によって設置され、性暴力、DV、人身売買など、さまざまな困難を抱える女性たちに寄り添ってきた婦人相談員。彼女たちの証言から、相談員の人生、出会ってきた女性たちの物語を紡ぐ。

『母親になって後悔してる、といえたなら』

『語りはじめた日本の女性たち』

高橋 歩唯著，依田 真由美著 出版：新潮社



【内容紹介】「母親になった後悔」を口にした日本の女性たちは、どのような人生を歩み、何を経験してきたのか。切実な想いを丁寧に聞き取った、インタビュー集。NHK番組をもとに書籍化。



『婚活マエストロ』

宮島 未奈著 出版：文藝春秋

【内容紹介】40歳のこたつ記事ライター・猪名川健人は、とある零細婚活会社の紹介記事を引き受ける。地味な婚活パーティーに現れたのは、驚異のカップル成立率を誇る伝説の司会者・鏡原奈緒子だった…。『別冊文藝春秋』連載を単行本化。



『おてらおやつクラブ物語』

子どもの貧困のない社会をめざして』

井出 留美著 出版：旬報社

【内容紹介】お寺に「おそなえ」された食べものを全国のひとり親家庭に「おすそわけ」している認定 NPO 法人「おてらおやつクラブ」。日本中にさざなみのように広がっていった、貧困家庭支援活動の 10 年の歩みをたどる。

『家父長制の起源』

男たちはいかにして支配者になったのか』

アンジェラ・サイニー著，道本 美穂訳 出版：集英社

【内容紹介】男性が女性を支配する「家父長制」は、人類の始まりから続く不可避なものなのか。最新の科学、考古学、人類学などの成果をもとに歴史をひもとき、世界各地を訪ねながら、抑圧の根源を徹底的に考察し変革の可能性を探る。

『生理前モンスターだった私が産婦人科医に聞く PMS・PMDD 攻略法』

なおたろー著，高橋 怜奈監修 出版：KADOKAWA



【内容紹介】生理前のイライラ、落ち込み、過食、倦怠感、むくみ…。それは PMS・PMDD かも!? 原因からセルフケア、病院での診察・治療内容、かかる費用まで、産婦人科医に教えてもらうコミック。

『シドニーの虹に誘われて』

李 琴峰著 出版：集英社



【内容紹介】2023 年、世界最大規模の LGBT の祭典「マルディ・グラ」に参加した著者。一人の性的少数者として向き合った反 LGBT 運動の歴史、「LGBT 理解増進法」を巡る反応と著者の思いを熱く綴る。『すばる』掲載を書籍化。

『子育てあるある美術館』

ズボラカーちゃん著 出版：文響社

【内容紹介】子育ての「辛い」が「笑い」に変わる! 「胎動痛いわ、イビキすごいわ」「妊娠後期 一度横になったら終わり」など、戸惑い、憤怒、悲哀、絶望に満ちた“子育てあるある”な言葉を、ミレー等の名画に載せて紹介。



『わたし、サイエンスエンターテイナーになる!』

五十嵐 美樹著 出版：WAVE 出版

【内容紹介】踊りながら生クリームをシェイクしてバターを作る!? 科学実験にエンターテイメントの要素を加えたショーを各地で行っている著者が、悲喜こもごものエピソードと共に科学にどっぷりつかった日常を綴る。科学実験も収録。



『どこかでちょっとずつ傷ついてるやさしいみんなへ』

ほうじ茶著, 植田 たてりイラスト 出版: KADOKAWA

【内容紹介】日常のなかにあること、仕事との付き合い方、友達・家族という存在…。曇り空の心に寄り添いながら、日々のしんどさをほぐしていく等身大・祈りのエッセイ。



『サッカー・グラニーズ』

ボールを蹴って人生を切りひらいた南アフリカのおばあちゃんたちの物語』



ジーン・ダフィー著, 実川 元子訳 出版: 平凡社

【内容紹介】南アフリカで高齢女性たちがサッカーを楽しんでいる動画を観たことが、アメリカでエンジニアをしている著者の人生を変えた…。サッカーで人生を切り開いた南アフリカのおばあちゃんたちと著者との交流を描くドキュメンタリー。

『おなじところちがうところ』

新井 洋行作, 嶽 まいこ絵 出版: くもん出版



【内容紹介】私ととしきは、サッカークラブ。コンビネーションは抜群だよ。でも、委員会は違うんだ。私とあの人、同じところもあれば、違うところもある。さがしてみたら…。多様性が輝く世界を描く絵本。

『もう会えない人を思う夜に』

大切な人と死別したあなたに伝えたいグリーフケア 28 のこと』

坂口 幸弘著, 赤田 ちづる著

出版: ディスカヴァー・トゥエンティワン

【内容紹介】悲しいだけ、悲しんでいい。老親や配偶者など、大切な人の死に直面し、言葉にできないような悲しみにひとり苦しんでいる人に向けて、悲しみに対処するためのヒントを 28 個にまとめる。



『ぼくはまっくろ』



原 陽子文, 山本 久美子絵 出版: リーブル

【内容紹介】まっくろな色をした盲導犬の口口。視覚障害者のシュウくんと一緒に暮らしてきましたが、盲導犬として仕事ができるのは 10 歳ごろまで。大好きなシュウくんとも、お別れの日がやってきて…。

(TRCMARC より抜粋)



1 月新刊冊数 65 冊
ご予約もできます。

